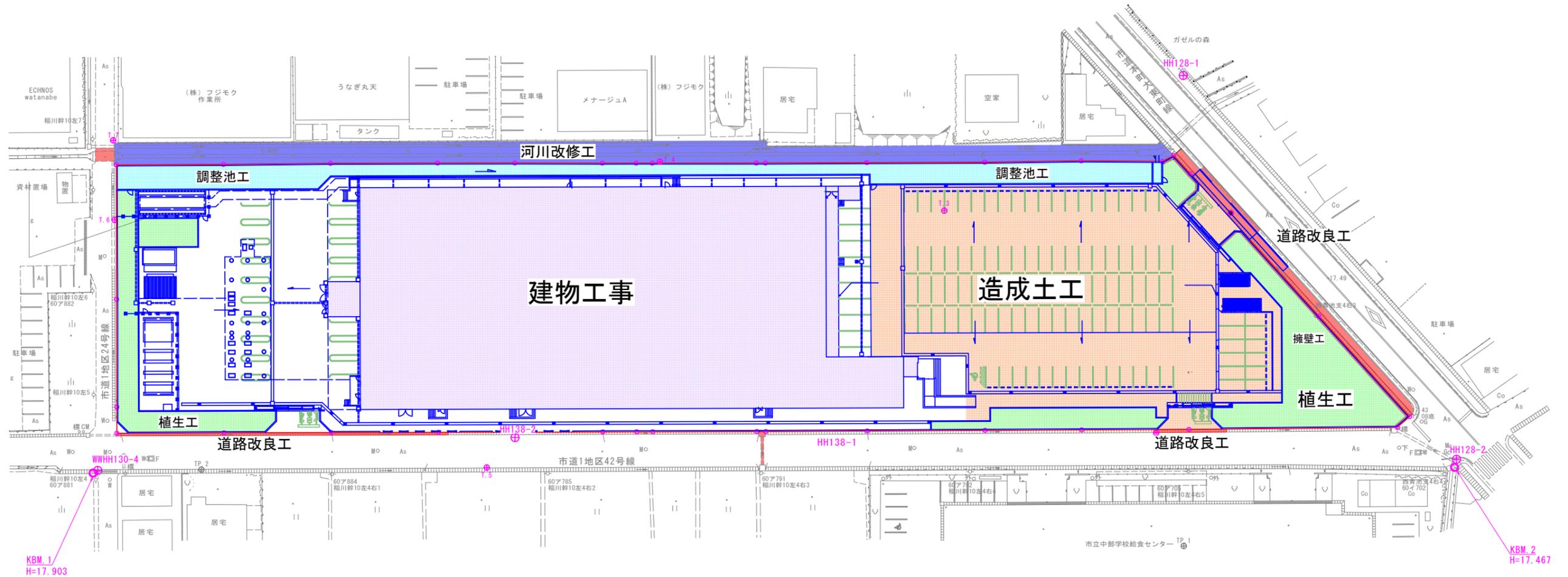


1. 平面図



新学校給食センター工事 概略平面図



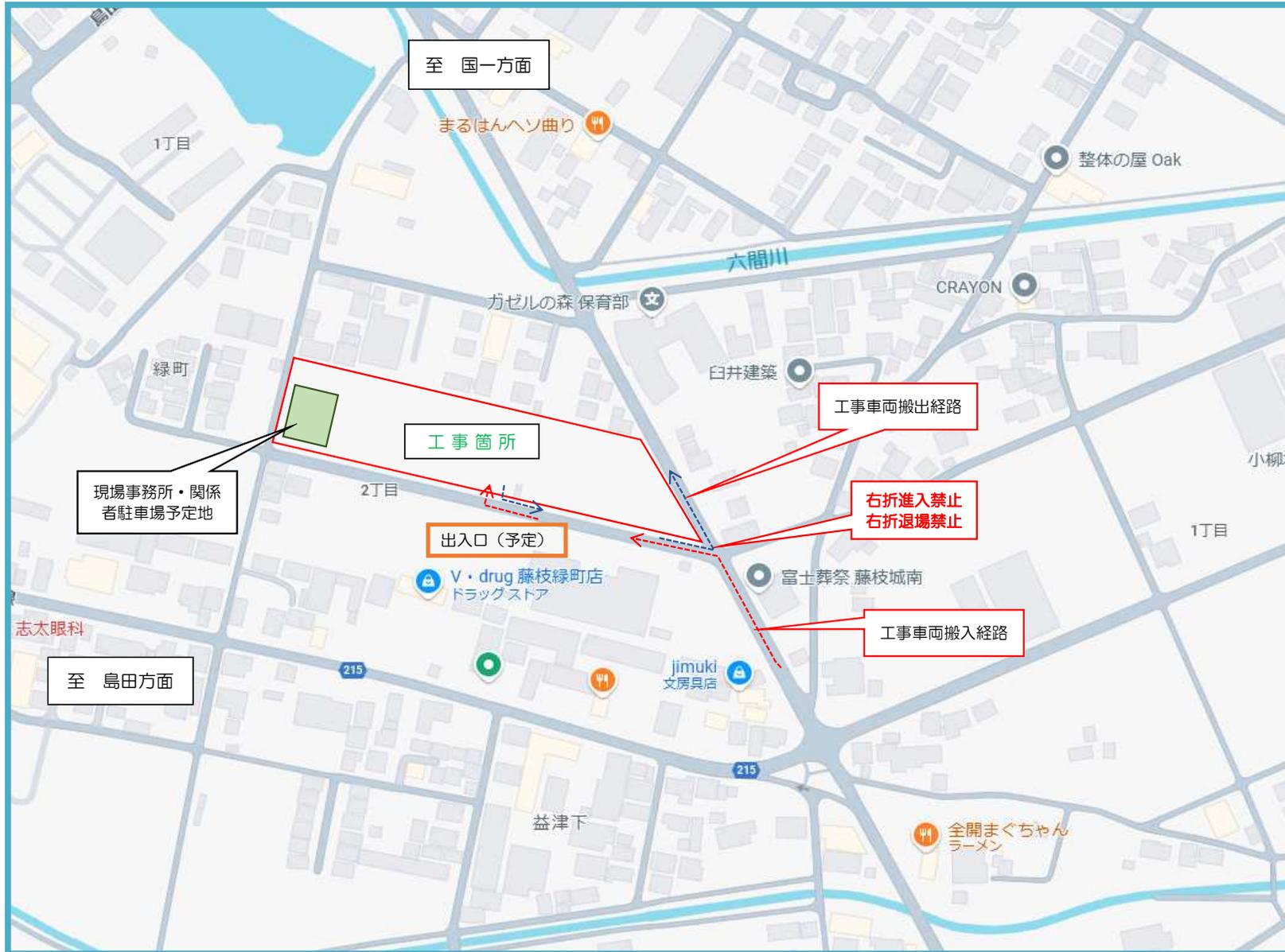
造成工事		建築工事	
	造成土工 (地盤改良)		建物工事
	調整池工		植生工
	擁壁工		
	河川改修工		
	道路改良工 (側溝・舗装)		

2. 造成工事工程表

工 種	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			R8 1月			2月		
	10	20	30	10	20	31	10	20	30	10	20	31	10	20	31	10	20	30	10	20	31	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30			
準備工				—————																																						
造成土工							—————																																			
調整池工							—————																																			
擁壁工																																										
構造物撤去							————											————																								
河川改修工																————																										
道路改良工																						————																				
舗装工																															————											
縁石工																			————																							
片付け工																																		————								

3. 工事車両搬入出経路

令和6年度（償務）新学校給食センター造成工事



4.地盤改良工法について

引用元 浅層地盤改良工事 | 地盤改良専門工事会社【東洋スタビ】

<https://www.toyostb.co.jp/business/land-ground-improvement01/>

従来工法

【地盤改良】

浅層地盤改良工事

豊富な経験と独自の技術開発から生まれたノウハウにより、
「低コスト」「省エネルギー」「スピーディー」で安全な工事を実現します。

「浅層地盤改良」施工実績業界トップクラス。この実績を足掛かりに、現在は7mまでの「中層地盤改良」へも活躍の領域を広げています。

01 固化材散布



02 混合



03 整正



04 転圧



WORKABILITY & PRODUCTIVITY

BZ210-3

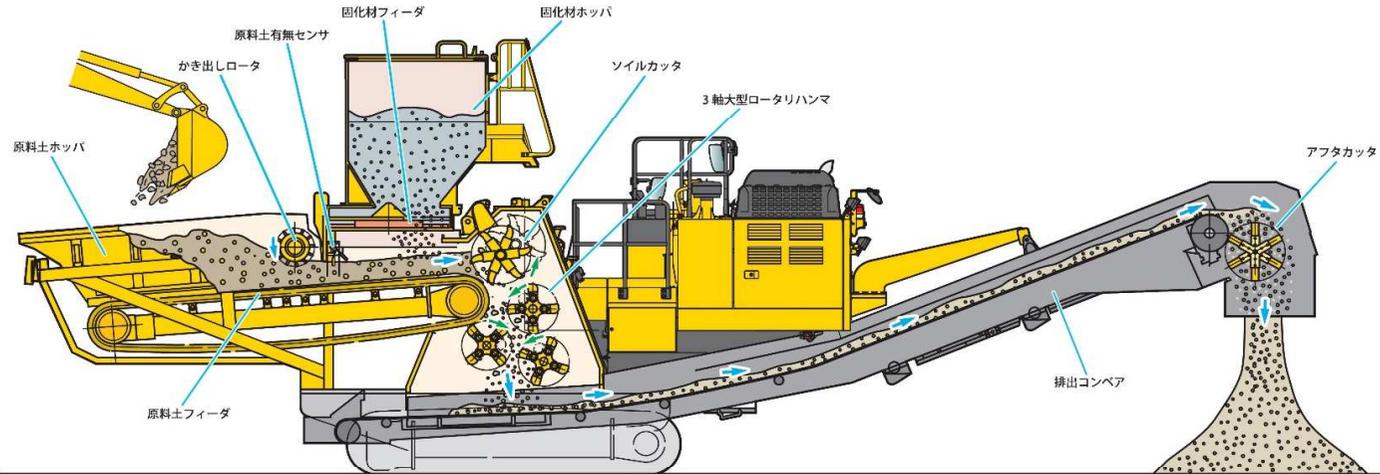
幅広い土質に対応する混合性能

混合機には瞬間的にほぐして確実に混合するソイルカッター+3軸大型ロータリハンマ+アフタカタを採用。広範にわたる建設発生土を、高品質な改良土に改良します。また、混合モードは4種類に切り換えられ、分野・土質に最適な混合性能を発揮します。

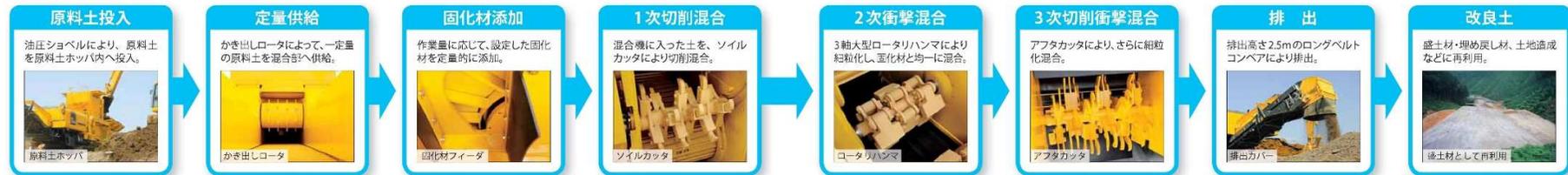
■混合モード

モード	特長	対象土質
Gモード	原料土フィーダの動きを最大化、大作業量を実現。	砂質土～砂質混じり粘性土
Hモード	カッター・ハンマを高速回転し、高品質の改良土を生産。	砂質土～粘性土
Mモード	広範囲な土に対応。	一般
Lモード	カッター・ハンマの回転数を下げ、メンテナンスコストを低減。	良質でレキが混入している場合

混合モードは対象土質と生産目的を考慮して選択してください。

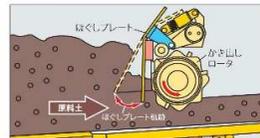


3段階の混合により高品質な改良土を生産



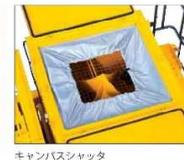
高い定量供給性能の原料土供給機構

- 原料土ホッパ: 段付き形状ホッパを採用し、粘性の高い土の供給性に優れます。また、その投入口は低く手前に傾斜し、あおりの角度も低いので、積み込み機から見やすく投入は容易です。
- かき出しロータ: 速度可変式(原料土フィーダと同期)で、スムーズに原料土を混合部へ供給します。また、逆転切り出し機能付なので、停止回数が減少し、レキでも確実に供給できます。
- ソイルカッター: 側面のプレート形状はテーパ状を採用。小石などのつまりを減少します。
- ほぐし装置(オプション): かき出しロータの前で「ほぐしプレート」が往復運動し、原料土をほぐします。特に、粘性の高い土の滞留や圧密に対し高い効果を発揮します。



添加性能に優れた固化材ホッパ・フィーダ

かき出し部と定量切り出し部を分離した2重構造固化材フィーダを採用し、固化材をムダなく供給します。また、キャンバスシャッタの採用により、フレコン投入時のホコリ飛散を抑えます。



操作性に優れた固化材投入用クレーン (自動停止型定格荷重制限装置付※)

固化材のホッパ投入時、クレーンブーム起伏・旋回が投入口で自動停止。すばやく投入でき稼働率を高めます。標準装備のラジコン(微操作モード付)で操作できるので、位置決めなどがラクに行えます。また、フックは自動格納になっています。

※:平成30年(2018年)の移動式クレーン構造規格の一部改正に対応

